

先日の進路希望調査の中で、いくつかの質問がありましたので、お答えしたいと思います。不安な気持ちになったとき、頼りになるのは家族や担任の先生です。わからないことがあれば、まずは担任の先生に相談してください。



- 1 成績はどれくらいで入れますか。(希望した高校の内申は最低どれくらいですか。)
→ 具体的な数字は高校のランク付けにつながりますので公表できません。担任の先生との進路相談の中で、読み取ってください。どうしても知りたいという人は、受験情報誌やインターネットで調べると目安がわかります。(ただし、数字だけに振り回されないようにしてください。受験にはいろいろな要素がありますから、内申が良ければ絶対大丈夫ということはありません。)
- 2 周りの人は塾に行っている人がたくさんいて、自分は塾に行っていないのでとても不安です。やはり、受験では塾に行ったほうがいいですか。
→ 結論から言えば、自分次第です。中学校の授業をしっかり聞き、復習を行い、問題集を繰り返しやることで実力はつきます。塾に行っているから受験に有利ということはありません。塾に行く人は、自学自習の習慣が身についていないとか、自分に甘くなってしまうとか、塾に行ったほうが安心とか、さまざまな理由があると思います。もちろん、塾の良さも当然あるわけですが、塾に行っていないくても、素晴らしい結果を残している人は大勢います。中学校で自学自習の習慣を身に着けておけば、高校進学後、きっと役立つはずです。
- 3 〇〇高校についての情報が知りたい。(場所、通学時間等)
→ 平成23年3月進路説明会で配布した進路学習のしおり「夢に向かって」のP27～36に掲載されていますので確認してください。愛知県内の上級学校についてさらに詳しく知りたい方は以下のホームページをご覧ください。

愛知県専修学校各種学校連合会

<http://www.askr.or.jp/>

愛知県私学協会

<http://www.aichi-shigaku.gr.jp/>

愛知県の公立高校・私立高校

<http://www.school-net.ne.jp/>

- 4 〇〇商業高校の内申はどれくらいですか。また、どんな勉強をするのですか。毎年どこへ就職しているのですか。検定など資格などはあったほうが良いのですか。
→ 内申については、1の回答と同じです。勉強、就職状況、資格については、上記のホームページでもわかります。また、学校説明会や体験入学に参加して自分で生きた情報を収集することをお勧めします。
- 5 高校の大学への進学率はどれくらいですか。いつから本格的な進路相談がありますか。
→ 上記のホームページをご覧ください。大学への進学状況が記載されています。また、学校説明会、体験入学に参加し情報収集に心がけてください。本格的な進路相談は、あなたが必要であればいつでもかまいません。担任の先生に「進路相談お願いします。」と申し出ればいいのです。私立・各専の高校は、12月の三者懇談で決定していきます。また、公立高校は1月終わってから2月始めの三者懇談で決定していきます。

6 どういう人が推薦してもらえるのですか。

- 担任の先生の方から「あなたを推薦するよ」と言われることは絶対にありません。まず、**本人の強い推薦希望と保護者からの申告（進路希望調査に記入）**が必要です。**私立推薦希望の確認と公立推薦希望調査を 12 月の三者懇談で行う予定**です。推薦希望があれば担任に申告してください。また、**公立推薦については、本人の自己アピール文を原稿用紙 5 枚程度にまとめて 1 月始めに提出してもらうことになります。**申告と作文 5 枚をもとに推薦委員会で検討し、最終的には学校長が判断し、出願という流れになります。

公立高校の推薦について

県から示される募集要項の出願資格（昨年度の場合）

- a．中学校長の推薦のある者
- b．平成 23 年 3 月に卒業見込みの者であること。
- c．受検校が第 1 希望の者
- d．当該学科を志望する動機・理由が明白・適切であること。また、当該学科に対する興味関心を有すること（専門学科）
- e．人物及び学習成績が優れていること

条件などの詳しいことは、「中学生生活と進路」公立高校の推薦入試 P 84、私立高校の推薦入試 P 85、進路学習のしおり「夢に向かって」の P 13、P 16 に掲載されていますので確認してください。

7 希望する高校が変わってもいいですか。受検した高校が 2 つとも落ちたらどうするのですか。

- 希望する高校の変更はできます。ただし、私立高校も公立高校も願書記入までにお願します。受検した 2 つの高校とは公立高校だと思われそうですが、私立高校は最大 5 校受験できます。愛知県 3 校と岐阜県内の中京高校、多治見西高校等があるのでチャンスを活かしてください。他に、定時制高校や通信制高校も受験できます。2 校とも失敗したら私立高校、定時制高校、通信制高校へ進学することになります。

8 普通科の高校進学を考えていますが、今の学力ではどのような学校がありますか。

- 今の学力でいける高校を決めるのではなく、本当に**行きたい学校**をまず考えてください。行きたい学校を決めるためには、あなた自身が資料で調べ、学校説明会や体験学習に積極的に参加し、その学校の校風や環境設備、雰囲気をつかむことです。そして、**家族とよく相談して、自分自身で決めて**ください。担任の先生に「どの高校なら行けそうですか。」と相談するのではなく、「**〇〇高校に行きたいのですが...**」というように自分の考えていることを素直に相談してください。（こんなこと相談したら恥ずかしいと思わないで！）そして、行きたい学校が決まれば、今何をしなければいけないのかが分かってきます。もう少し学力を上げないといけない場合はそれなりの努力が必要です。授業中に寝ていてはダメだなと気づくこと、自分で自分を変えていくことが求められます。先生が、「この子最近変わったな。」と思われるようになればいいと思います。

9 〇〇高校は入試当日の点数と内申とどちらがより重視されますか。

- 学校によって異なるので、「夢に向かって」P 18 で確認してください。

型...（評定得点）＋（学力検査合計得点）

型...（評定得点）×1.5＋（学力検査合計得点）

型...（評定得点）＋（学力検査合計得点）×1.5

10 総合学科の特色を教えてください。

- 普通科目と多様な専門科目を開設し、体験的な学習を重視します。
瀬戸北総合高校（平成 23 年度から校名が変わりました）の場合は、
選択の幅が広い。 選択科目がたくさんある。 少人数の授業が多く、きめ細かである。
進路について考える授業がある。 設備が充実している。
ホームページにより詳しい説明がありますので、参考にしてください。